

# はじめに

県内では、さまざまな形で人権学習が取り組まれています。昨年度、その成果をもとに、「人権学習プログラム第1集」を作成しました。幼稚園・小学校・中学校・高等学校のモデルプログラムの事例を紹介しましたが、各校（園）では、子どもや地域の実態をふまえ、さらに工夫して取り組まれているところです。

今年度作成した第2集は、新たに校園の18事例と県内の中学校区で実践された事例を紹介しています。「人権教育推進プラン」に示した2つのアプローチとの関連も表記してありますので、学習計画を組む際の参考にしてください。

今後この学習プログラムを活用いただき、人権学習がますます多様に取り組まれることを願っています。

## 目次

人権教育推進構造図 ・人権教育推進プランから	
人権学習プログラム組み立ての基本について	p2
人権学習プログラムの見方について	p2
人権学習プログラム例	
< 幼稚園 >	
たんじょうび うれしいな（4歳・5歳）	p3
自分で気がつき自分でやれたね（4歳・5歳）	p4
おうちの人とウォークラリーをしよう（5歳）	p6
ケナフで紙すきをしよう（5歳）	p7
みんなの広場で遊ぼう（4歳）	p8
< 小学校 >	
表情や体を使って伝えよう（低中学年）	p10
今にのこる昔とくらしのうつりかわり（中学年）	p12
地域で働く人から学ぶ（高学年） ～働くこと・生きること・今、私にできること・人とかかわる力を伸ばすこと～	p14
みんなにやさしい学校とは？（高学年）	p16
高齢者の暮らしやすい家、まちを作ろう（高学年）	p18
< 中学校 >	
福祉ボランティアの活動から	p20
朝鮮半島の文化から学ぶ	p22
自分を見つめ、自分の将来に夢を持とう	p24
いのちの尊さを通して考える	p26
< 高等学校 >	
異なる文化の理解からともに生きる社会を考える ～国際理解教育の手法を人権学習へ～	p28
養護学校との交流を通して相互理解を深める	p30
人権を大切にしたい家庭や社会をつくるために	p32
朝の読書の取り組みを通して	p34
< 県内の中学校区の連携 >	
元気にあいさつしよう（幼稚園4歳・5歳）	p36
学級のトラブルをうまく解決しよう（小学校中高学年）	p38
対立やいじめを解決しよう（中学校）	p40
お互いのよさを知り合おう ～新しい仲間を～（高等学校）	p42